環境通信

▼問い合わせ先
環境衛生課（合志庁舎）
☎（248）1202

新しい路線でより便利に
コミュニティバス東西線　運行開始

●問い合わせ先
企画課
企画広報班（合志庁舎）
☎248-1813

ユーパレス弁天（始点）から合志庁舎（終点）を約27分で結ぶ新しいバスの路線、東西線が運行開始しました。バスは始点と終点を毎日４往復しています。

●**運賃**　大人150円　子ども80円

●**路線図**

例えば　須屋駅からアンビー熊本へ行く場合（片道 340 円）

1.熊本電鉄菊池線　御代志駅行　須屋駅８時42分発～御代志駅８時51分着
2.東西線往路１便目　御代志駅９時３分発～アンビー熊本９時14分着　　合計時間32分
※交通事情により状況が変わる場合があります。

その他コミュニティバスも好評運行中

●レターバス右・左回り　・運行日　毎日　・便数　平日各６便　土日祝日５便
●循環バス（２路線）　・運行日　火・木・土曜日　・便数　１日２往復
●乗合タクシー（３路線）　・運行日　火・木・土曜日　・便数　１日２往復

※詳しいダイヤ・利用例は市ホームページをご覧ください。

引っ越すときは飼い犬の住所も変えましょう

３月から４月は引っ越しのシーズンです。飼い犬は市区町村への登録が法律で義務付けられており、犬の住所が変わった場合は引っ越し先の市区町村に届け出が必要です。

届け出の際は、犬鑑札と注射済証をご用意ください。

野犬に注意しましょう

市内で野犬の目撃情報が寄せられています。野犬の通報があった場合は菊池保健所衛生環境課と協力しながら捕獲罠を設置し、捕獲や巡回を行なっています。

野犬に遭遇した場合は大声を出したり、犬と目線を合わせたりして刺激することは危険ですので、その場から離れるようにしましょう。

その土地に住み着く原因にもなりますので、安易に野犬に餌を与えないようにしましょう。

家庭ごみはしっかり分別を

資源物J（プラスチック類）の収集物に、紙おむつや生ごみなど本来可燃ごみとして分別しなければならない物が混入している事例が多く見受けられます。違反ごみが混入していると、汚れが付着しリサイクルができなくなります。

ごみを捨てる際は、市の分別ルールに従い適正に処理をお願いします。分別について不明な点はお問い合わせください。

ごみの分別表は「ごみの分け方・出し方」の冊子や市ホームページに掲載しています。

▲冊子は環境衛生課に用意しています

ごみ出し早見表

人権教育シリーズ㊴
西合志第一小学校の取り組み

▼問い合わせ先　人権啓発教育課（合志庁舎）
☎（248）2399

合生コミュニティの中で

本校は、全校児童数80人です。「家族的な温かい雰囲気の学校」とよく評されます。本校の地元である合生コミュニティでは、どろんこフェスタ、夏祭り、どんどやなど、子どもたちを主役に据えた取り組みがあり、その中で保護者ともども小さな頃からお互いを見知って、深い関わりを築いています。言わずとも伝わるほどの絆もあります。

本年度は、学校教育目標を「夢と挑戦欲を持ち、自ら学び、心豊かに健やかに生き抜く児童の育成」と定め、新たに「挑戦欲」「生き抜く」などの言葉を加えました。予測困難な時代を未来のつくり手として生きていく子どもたちに、第一小学校として確かな教育をつくりたいと考えました。

その学校経営の基盤となる人権教育の取り組みを紹介します。

「くすのき」のように…人権月間の取り組み

本校にはスローガンがあります。

「くすのき」のように
支え合い　たくましく、
夢に向かって　伸びていく第一小！

差別やいじめを絶対に許さない、共に支え合い、成長し合う仲間になっていこうという思いを込めて、子どもたちが作ったものです。

このスローガンからスタートした人権月間では、心のきずなを深める集会で学習のまとめを行ないました。

一学期は全校児童で実施し、各学年が学んだことを発表しました。「一人も悲しい顔をしないでみんなが笑って暮らせるクラスにするためにみんなで考えていきたい」（1年生）、「誰一人、嫌な思いをすることがない、みんなが泣かないでいいクラスにしていきます」（2年生）など決意の紹介をしたあと、感想や励ましを送りました。2年生に届けられたメッセージを紹介します。

「いろんなことに気付いてすごいね。僕もいつもいじわるしてしまいます。いじわるをやめます」「力の強い人、弱い人、勉強が得意な人、苦手な人で差別するのはおかしいと思いました。私は人によって態度を変えることがあるのでやめようと思いました」

２学期は低・高学年の二つに分かれて行ないました。低学年は「安心して過ごせる学校にするために自分にできることは何だろう」というテーマで5グループに分かれて意見交換を行ない、3年生が進行役を務めながら、互いの考えを深めていきました。「困っている人の気持ちを考えて行動する」「優しい言葉を使って、優しい言い方で声を掛ける」などの意見が出されました。

高学年は、6年生の進行で「押しつけや決めつけについて」「名前の呼び捨てについて」をテーマに話し合いました。

児童の主体的活動の場をつくることが、自分のこととしてとらえ、行動につなげていく力になると考えます。

人権学習は集会で終わりではなく、むしろそこから学びを実践につなげ、日常化していく契機であると全職員で認識し、子どもの姿と行動で、学びの成果を感じ取っています。

わくわく木曜会の仲間づくり

本校では、毎週木曜日の放課後、合生文化会館で「わくわく木曜会」を開催しています。対象は全校児童の希望者で、本年度は26人の児童が参加しています。70分構成の内容は、前半が基礎的な学習、後半はふれあい活動（人権学習）です。学力向上、子ども同士のつながり、郷土愛の醸成などを目的に、全職員が交代で指導に当たっています。子どもたちが伸びやかに活動できる場であり、つながりを深める交流や地域を知るための場として、その役割を果たしています。仲間や地域とのつながりは、卒業しても、強くて温かい心のよりどころとなるはずです。

地域や保護者へ広げる・つなげる

２学期の学習発表会では、1年生の「たいせつないのち」、5年生の「水俣に学ぶ肥後っ子教室」での学びを題材にした「環境ワイドショー『EARTH 5』」、修学旅行で学んだ6年生の「ナガサキのある国で」など、人権に関するテーマを劇や歌などで地域や保護者に訴えました。「子どもたちの発表に考えさせられた」という感想がありました。

つながることで学ぶ

「教育の力で差別をなくしてほしい」、「学ぶことによってつながる。つながることによって学ぶ」という言葉を、研修講師からいただきました。職責の重要さをあらためて感じるとともに、強い使命感を抱いたところです。今後もチーム第一小で志を合わせて、人権尊重の精神に立った学校づくりにまい進していきます。